




釜臥山文化サイト モニタリングマニュアル

モニタリングを実施した場合は、様式「モニタリング確認書」へ必要事項を記入の上、定点観測の写真を添付し、下北ジオパーク推進協議会事務局まで提出をお願いいたします。

1. 簡易カルテ				
名称	釜臥山	エリア区分	大湊・芦崎	
所在地	むつ市	トイレ	あり	
アクセス	釜臥山展望台まで JR 下北駅から車で約40分			
駐車場	あり	看板	ジオ看板:なし その他看板:あり	
説明	<p>釜臥山山頂は霊場恐山の奥の院にあたる。一方、麓の各集落から集団で山頂に登る「山かけ」と呼ばれる参詣が江戸時代から行われており、大湊の兵主(ひょうす)神社の奥宮「釜臥山嶽大明神御殿」も山頂にある。隣接する航空自衛隊の警戒管制レーダー(通称ガメラレーダー)は、日本の防空の要となっている。</p> <p>山裾は釜臥山の火山体と火山麓扇状地では傾斜が異なり、それらを上級者コースと初心者コースに活用したスキー場は、南麓に立地している。火山麓扇状地で地下に染み込んだ天水は裾野で湧き出し、大湊湧水群として親しまれている。</p>			
想定される事態	  <p>山かけ体験登山が行われなくなることで、文化の伝承が行われなくなることが想定される。</p>			

2. モニタリング方法

サイト内で見られる特に重要な景観、保全すべきものを定点観測対象物とする。下記定点観測対象物を定点観測場所から撮影し、撮影した日付を記載し協議会事務局へ報告する。

定点観測対象物 「霊場恐山の奥の院・釜臥山嶽大明神御殿」



イメージ

定点観測の理由 釜臥山の信仰の対象物の全景を確認するため。

定点観測場所



釜臥山遊歩道を頂上まで登り、対象物を正面から撮影する

モニタリング対象物「山かけ登山」	
毎年行われる「山かけ」登山体験が行われたことを確認し、報告する。	
モニタリングの理由	山かけ登山の文化が継承されていることを確認するため。

3. その他確認事項

異状があった場合は異状箇所を撮影し、現場の詳細を様式「モニタリング確認書」に記入の上、協議会事務局へ報告する。また、緊急性の高い異状については、確認時に事務局までご連絡ください。

4. 異状発見報告があった場合

モニタリング実施者から異状報告があった場合は、下記の流れで関係団体へ報告を行う。

事務局は、現場の状況を確認し、必要に応じ、ホームページやチラシなどで地域住民や来訪者に対し周知を行う。

